

令和 6 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	国語	年次	1学年	使用教材	「現代の国語」大修館書店 「常用漢字の1・2トライ」浜島書店
科目名	現代の国語	必修	単位	2	

科目の目標

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習方法

- (1) 授業について
- 話し合いやグループワークでは、自分の考えを深めるとともに、他者の視点を知ることを意識しましょう。
 - さまざまな文章を読んで、論理的に考える力や他者に共感する力、想像する力を養いましょう。
 - 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることを意識して、作文や発表、プレゼンテーションなどの活動に取り組みましょう。
- (2) 学習の留意点
- 意味や使い方がわからない語句や漢字は、chromebookや国語辞典を活用して必ず調べましょう。
 - ワークシートや作文、レポート等の提出期限を確認し、計画的に取り組みましょう。
 - わからないことはそのままにせず、質問しましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点	評価の観点の趣旨
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
② 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
授業内の活動への参加状況	○	◎	◎	発言や取り組みの内容
グループワーク・発表		◎	◎	取り組みの内容、発表の仕方
作文・レポート	○	◎	◎	内容、見やすさ、わかりやすさ
プレゼンテーション	○	◎	◎	内容、見やすさ、わかりやすさ
定期考査	◎	○		内容、理解度

◎特に重視する点

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
B B B	6	3
A B C	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	
C C C	1	1

内容のまとまりごとの評価規準

科目名:現代の国語

評価の観点 内容のまとまり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	話す・聞く	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	積極的に学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い、適切な評価を行おうとしている。
2	書くこと	主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えを明確に述べている。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	目的や意図に応じて適切な内容や形式について粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。
3	読むこと	主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。
4				
5				
6				
7				
8				

年間指導計画

教科(国語) 学年(1)
履修形態(必修)

科目(現代の国語)
単位(2)

総時数 話聞:20h 書:36h 読:14h

学期	時	単元名 (内容のまとまり)	教材 題材	主な学習内容	育成する 資質・能力	主な評価方法	評価の 観点		
							①	②	③
前	4h	伝わるように話す 重点的に学習する内容のまとまり (話す・聞く) 4h	「設計図を最初に渡せ！」 藤原 晃治 伝える・伝え合う	目的や場面に応じたスピーチをする。 ・場面に応じた適切な語句や表現を意識する。 ・話し言葉の特徴を整理し、分かりやすい伝え方について確認する。 ・自己紹介の内容を考え、発表する。	・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力	取り組み状況 ワークシート スピーチ		○	○
	6h	文章の要点をつかむ 重点的に学習する内容のまとまり (読むこと) 6h	『『動』への変化』 落合陽一	内容や構成、論理の展開を捉え、文章の要旨を把握する。 ・通読し、メディアの歴史についての概要を捉える。 ・段落ごとの内容を理解する。 ・要約をまとめる。	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力	取り組み状況 ワークシート 要約		○	○
	5h	わかりやすく書く 重点的に学習する内容のまとまり (書くこと) 5h	わかりやすく書く	表記・表現のルールを理解し、読み手に分かりやすい文章を書く。 ・情報の整理の仕方について考える。 ・分かりやすい表現について整理する。 ・「作業マニュアル」を作成する。	・表現力 ・コミュニケーション力	取り組み状況 ワークシート 作業マニュアル		○	○
	4h	発想を広げる 重点的に学習する内容のまとまり (話す・聞く) 4h	発想を広げる	他者と意見を交流し、さらに発想を広げる ・ブレインストーミングについて理解する。 ・アイディアを整理する方法を理解する。 ・オホーツク地域のアピールポイントについて話し合い、発表する。	・発見力 ・探究力 ・表現力 ・コミュニケーション力	取り組み状況 グループワーク 発表		○	○
	5h	意見を書く 重点的に学習する内容のまとまり (書くこと) 5h	意見を書く	根拠を明確にして、自分の意見や考えを論述する。 ・主張と根拠の定義を理解する。 ・文章の構成を考え、構成メモを作成する。 根拠を明確にして400～600字程度の意見文を書く。	・学ぶ力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力	取り組み状況 ワークシート 意見文		○	○
	8h	文章の論理をとらえる 重点的に学習する内容のまとまり (読むこと) 8h	『『動的平衡』としての 生物多様性』 福岡伸一	主張と根拠、推論の仕方に着目して文章の論理をとらえる。 ・主張・根拠・理由づけについて理解する。 ・推論の方法について理解する。 ・筆者の主張と根拠について説明する。	・学ぶ力 ・思考力 ・自己指導力	取り組み状況 ワークシート		○	○
後	5h	読書感想文 重点的に学習する内容のまとまり (書くこと) 5h	読書感想文	読書感想文を書いて、読書の魅力を共有する。 ・感想文の内容を考える ・感想文を魅力的な表現にする工夫を考える。 ・読んだ本の魅力を伝える感想文を作成し、感想を交流し合う。	・発見力 ・グローバル力 ・コミュニケーション力	取り組み状況 感想文		○	○
	5h	統計資料をもとに意見を書く 重点的に学習する内容のまとまり (書くこと) 5h	『『安くておいしい国』の限界』 小熊英二	統計資料の組み合わせや比較をもとに自分の主張をする ・本文の内容について理解し、筆者の主張を読み取る。 ・資料を含めた本文の構成について理解を深める。 ・統計資料をもとに意見を書く。	・探究力 ・思考力 ・表現力	取り組み状況 ワークシート 作文		○	○
	4h	目的に沿った質問をする 重点的に学習する内容のまとまり (話す・聞く) 4h	「他者を理解すること」 鷲田清一	疑問を明確にし、理解を深める質問の仕方や内容を工夫する。 ・本文の内容について理解し、筆者の主張を読み取る。 ・質問の種類や効果を理解する。 ・身近な人にインタビューし、情報をまとめる。	・発見力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力	取組状況 ワークシート		○	○

5 h	状況に応じた通信文を書く 重点的に学習する内容のまとめ(書くこと) 5h	「パン屋の手紙」 神 幸紀 中村好文	相手に必要な情報を的確に伝える実用的な文章を書く。 ・本文の内容を理解し、書き手が伝えたい内容を読み取る。 ・通信文に必要な要素や形式について理解する。 ・通信文を作成する。	・学ぶ力 ・思考力 ・表現力	取り組み状況 ワークシート ○ ○ 通信文 ○ ○
4 h	資料を用いて発表する 重点的に学習する内容のまとめ(話す・聞く) 4h	「どう伝えるか」 山中伸弥	資料を活用した効果的なプレゼンテーションをする。 ・本文の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。 ・プレゼンテーションについて理解し、内容を考える。 ・効果的な構成や話し方を工夫し、プレゼンテーションを行う。	・学ぶ力 ・思考力	取り組み状況 ○ ○ ワークシート ○ ○ プレゼンテーション ○ ○
5 h	文章を読み取って主張を書く 重点的に学習する内容のまとめ(書くこと) 5h	「言葉についての新しい認識」 池上嘉彦	情報の妥当性や信頼性を吟味して意見文を書く。 ・本文の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。 ・相手の主張を正しくつかみ、それをふまえた意見を組み立てる。	・発見力 ・探究力 ・思考力 ・表現力	取り組み状況 ○ ○ ワークシート ○ ○ 意見文 ○ ○
6 h	レポートを書く 重点的に学習する内容のまとめ(書くこと) 6h	レポートを書く	必要な情報を収集・整理して説得力のあるレポートを書く。 ・情報を集め、問いをたてる。 ・問いを解決する情報を集める。 ・構成を検討し、レポートを作成する。	・発見力 ・探究力 ・思考力 ・判断力 ・表現力	取り組み状況 ○ ○ ワークシート ○ ○ レポート ○ ○
4 h	結論を出すために話し合う 重点的に学習する内容のまとめ(話す・聞く) 4h	結論を出すために話し合う	結論の出し方を工夫して合意形成のための話し合いをする。 ・テーマに対する自分の主張を明確にする。 ・異なる意見を持つ者同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。	・探究力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力	取り組み状況 ○ ○ ワークシート ○ ○ 話し合い ○ ○

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	「設計図を最初に		
単位数		2		渡せ！」		
単元名		伝わるように話す		藤原 晃治		
内容のまとめ		(話す・聞く) 4h		伝える・伝え合う		
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		話し言葉の特徴を知る。	聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。		相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整する。	
単元の学習内容		目的や場面に応じたスピーチをする。				
		・場面に応じた適切な語句や表現を意識する。				
		・話し言葉の特徴を整理し、分かりやすい伝え方について確認する。				
		・自己紹介の内容を考え、発表する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。	「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。		口頭での説明を通して話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	スピーチ		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		4時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・思考力
科目名		現代の国語	教材 題材	『『動』への変化』		
単位数		2		落合陽一		
単元名		文章の要点をつかむ				
内容のまとめ		(読むこと) 6h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		叙述を的確にとらえる。	具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。		学習課題に沿って、積極的に具体や抽象、対比の関係をとらえる。	
単元の学習内容		内容や構成、論理の展開を捉え、文章の要旨を把握する。				
		・通読し、メディアの歴史についての概要を捉える。				
		・段落ごとの内容を理解する。				
		・要約をまとめる。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。【(1)力】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【(2)イ】	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】		積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	要約		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		6時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	わかりやすく書く		
単位数		2				
単元名		わかりやすく書く				
内容のまとめ		(書くこと) 5h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解する。	相手に正確に情報が伝わるように、わかりやすく書く。		目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する。	
単元の学習内容		表記・表現のルールを理解し、読み手に分かりやすい文章を書く。				
		・情報の整理の仕方について考える。				
		・分かりやすい表現について整理する。				
		・「作業マニュアル」を作成する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。【(2)ア・イ】	「書くこと」において、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。【B(1)ア】		目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	作業マニュアル		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・探究力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	発想を広げる		
単位数		2				
単元名		発想を広げる				
内容のまとめ		(話す・聞く) 4h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		ブレンストーミングやアイデアを整理する方法を理解する。	他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。		アイデアを整理し、さらに発想を広げる。	
単元の学習内容		他者と意見を交流し、さらに発想を広げる				
		・ブレンストーミングについて理解する。				
		・アイデアを整理する方法を理解する。				
		・オホーツク地域のアピールポイントについて話し合い、発表する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		出されたアイデアのそれぞれの関係を理解している。【(2)ア・イ】	「話すこと・聞くこと」において、さまざまな観点から情報を整理し、内容を検討している。【A(1)ア】		アイデアを出したり整理したりすることを通して、アイデア同士の関係を踏まえさまざまな観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	グループワーク	○				
	発表		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		4時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	意見を書く		
単位数		2				
単元名		意見を書く				
内容のまとめ		(書くこと) 5h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		自分の主張を補強する手立てについて理解する。	構成や展開を意識して文章を書く。根拠を明確にして、自分の意見を書く。		意見文の相互評価や単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握する。	
単元の学習内容		根拠を明確にして、自分の意見や考えを論述する。				
		・主張と根拠の定義を理解する。				
		・文章の構成を考え、構成メモを作成する。				
		根拠を明確にして400～600字程度の意見文を書く。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		文例や自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。【(2)ア】	「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。【B(1)イ】		意見文の相互評価や単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	意見文		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・思考力 ・自己指導力
科目名		現代の国語	教材 題材	『動的平衡』としての		
単位数		2		生物多様性」		
単元名		文章の論理をとらえる		福岡伸一		
内容のまとめ		(読むこと) 8h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		主張と根拠、理由付けの関係をとらえる。演繹・帰納に注目して、文章の論理をとらえる。	本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。		本文における情報の関係や推論のしかたに注意しながら、内容や展開を把握することに粘り強く取り組んでいる。	
単元の学習内容		主張と根拠、推論の仕方に着目して文章の論理をとらえる。				
		・主張・根拠・理由づけについて理解する。				
		・推論の方法について理解する。				
		・筆者の主張と根拠について説明する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。【(2)ア・ウ】	「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。【(1)ア】		論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況				○	
	ワークシート	○				
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・グローバル力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	読書感想文		
単位数		2				
単元名		読書感想文				
内容のまとめ		(書くこと) 5h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に活かす。	読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。		積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をし、感想の交流などを通して適切な評価をする。	
単元の学習内容		読書感想文を書いて、読書の魅力を共有する。				
		・感想文の内容を考える				
		・感想文を魅力的な表現にする工夫を考える。				
		・読んだ本の魅力を伝える感想文を作成し、感想を交流し合う。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。【B(1)イ】		積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、感想の交流をしたりする中で適切な評価を行おうとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	感想文	○	○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・探究力 ・思考力 ・表現力
科目名		現代の国語	教材 題材	『『安くておいしい 国』の限界』 小熊英二		
単位数		2				
単元名		統計資料をもとに意見を書く				
内容のまとめ		(書くこと) 5h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。	資料を正確に読み取り、文章との対応を考える。 統計資料を根拠として、自分の主張を書く。		図表や文章が示す情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める。	
単元の学習内容		統計資料の組み合わせや比較をもとに自分の主張をする				
		・本文の内容について理解し、筆者の主張を読み取る。				
		・資料を含めた本文の構成について理解を深める。				
		・統計資料をもとに意見を書く。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。【(2)ア】 根拠として統計資料を引用することの必要性を理解している。【(2)オ】	「書くこと」において、主張を支える根拠として統計資料から適切な情報を抽出できている。【B(1)ウ】		図表や文章が示す情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	作文		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	「他者を理解 するということ」 鷲田清一		
単位数		2				
単元名		目的に沿った質問をする				
内容のまとめ		(話す・聞く) 4h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		質問の種類や効果を理解する。	目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。		得られる情報や効果を意識しながら質問をする。	
単元の学習内容		疑問を明確にし、理解を深める質問の仕方や内容を工夫する。				
		・本文の内容について理解し、筆者の主張を読み取る。				
		・質問の種類や効果を理解する。				
		・身近な人にインタビューし、情報をまとめる。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		個別の情報を一般化したり、一般化された抽象的な情報を具体化したりしている。【(2)イ】	「話すこと・聞くこと」において、質問をしつつ論理展開を予想しながら相手の回答を聞き、聞き取った情報を整理している。【A(1)エ】		得られる情報や効果を意識しながら質問をしつつ、自分自身の質問の仕方について積極的に振り返ろうとしている。	
主な評価方法	取組状況		○		○	
	ワークシート	○				
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		4時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・思考力 ・表現力
科目名		現代の国語	教材 題材	「パン屋の手紙」		
単位数		2		神 幸紀		
単元名		状況に応じた通信文を書く		中村好文		
内容のまとめ		(書くこと) 5h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		通信文の基本的なルールを理解する。	相手や場面に応じた通信文を書く。		通信文の特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を追求する。	
単元の学習内容		相手に必要な情報を的確に伝える実用的な文章を書く。				
		・本文の内容を理解し、書き手が伝えたい内容を読み取る。				
		・通信文に必要な要素や形式について理解する。				
		・通信文を作成する。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		通信文に適した語彙を身に付け、適切に使用している。【(1)エ】	「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を活かした表現を考えて工夫している。【B(1)エ】		媒体ごとの体裁や特徴、適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を試みようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	通信文		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・思考力
科目名		現代の国語	教材 題材	「どう伝えるか」		
単位数		2		山中伸弥		
単元名		資料を用いて発表する				
内容のまとめ		(話す・聞く) 4h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		話の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、聞き手の心を動かす話し方を工夫する。	資料を活用した効果的なプレゼンテーションをする。		自分の考えを伝えるために、話の展開や構成、効果的な資料の使い方などを工夫する。	
単元の学習内容		資料を活用した効果的なプレゼンテーションをする。				
		・本文の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。				
		・プレゼンテーションについて理解し、内容を考える。				
		・効果的な構成や話し方を工夫し、プレゼンテーションを行う。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		話の効果的な組み立て方や接続の仕方について、理解している。【(1)オ】	「話すこと・聞くこと」において、提示する情報を選別しながら資料を効果的に用いて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【A(1)ウ】		自分の考えを伝えるために、話の展開や構成、効果的な資料の使い方などを工夫している。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	プレゼンテーション		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		4時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・探究力 ・思考力 ・表現力
科目名		現代の国語	教材 題材	「言葉についての 新しい認識」 池上嘉彦		
単位数		2				
単元名		文章を読み取って主張を書く				
内容のまとめ		(書くこと) 5h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	情報の妥当性や信頼性を吟味して意見文を書く。		ワークシートや意見文の作成に、計画的積極的に取り組む。	
単元の学習内容		情報の妥当性や信頼性を吟味して意見文を書く。				
		・本文の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。				
		・相手の主張を正しくつかみ、それをふまえた意見を組み立てる。				
		1				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		読み手に伝わりやすい主張の組み立てについて理解している。【(1)オ】	「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長や課題を把握している【B(1)エ】		意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	意見文		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力 ・発見力 ・探究力 ・思考力 ・判断力 ・表現力
科目名		現代の国語	教材 題材	レポートを書く	
単位数		2			
単元名		レポートを書く			
内容のまとめ		(書くこと) 6h			
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
		適切な情報を集め、問いを立てる。 レポートの書き方を理解する。	必要な情報を収集、整理して、説得力のあるレポートを書く。		自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考え、自らの学習を調整する。
単元の学習内容		必要な情報を収集・整理して説得力のあるレポートを書く。			
		・情報を集め、問いをたてる。			
		・問いを解決する情報を集める。			
		・構成を検討し、レポートを作成する。			
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		文・話・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。【(1)オ】	「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。【B(1)ウ】	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考え、自らの学習を調整しようとしている。	
主な評価方法	取り組み状況		○	○	
	ワークシート	○			
	レポート		○		
	1				
	1				
	1				
	1				
配当時間		6時間			
補足等					

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・探究力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		現代の国語	教材 題材	結論を出すため		
単位数		2		に話し合う		
単元名		結論を出すために話し合う				
内容のまとめ		(話す・聞く) 4h				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		異なる意見を持つ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。	結論の出し方をくふうして合意形成のための話し合いをする。		話し合いの工夫について理解し、その後の学習活動や学校生活に活かす。	
単元の学習内容		結論の出し方を工夫して合意形成のための話し合いをする。				
		・テーマに対する自分の主張を明確にする。				
		・異なる意見を持つ者同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。				
		・結論の出し方を工夫して話し合う。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		主張と論拠など、情報と情報との関係について理解している。 【(2)ア】	「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行などの話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。【A(1)オ】		結論を出すための話し合いの工夫について理解し、その後の学習活動や学校生活に活かそうとしている。	
主な 評価 方法	取り組み状況		○		○	
	ワークシート	○				
	話し合い		○			
	1					
	1					
	1					
	1					
配当時間		4時間				
補足等						